備 九八七六五四三二一考	用び在の作は地 実事											
ここここここここののののののののののののののののののののののののののののの												環 の境 区要 分素
「「主主要とない、 「主要要なない、 「主要要なない、 「主要要なない、 「主要要なない、 「主要要なない、 「工力」を表示している。 「「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、」では、 「一、 「一、 「一、」では、 「一、 「一、 「一、 「一、 「一、 「一、 「一、 「一、 「一、 「一	0								物 室 素 酸 化	大気質	大気環境	境 環 環 東 の 自
ヤ」と望いまた。要素には然としている。 ドはないでは、というでは、というでは、というできまた。 と切っとは、というできまた。	0								状 物 質 粒 子			然的構成要
は土触は、としている。 では、不特を因の 下する主要に学年ののでは、 中工のない。							0	0	粉 じ ん 等			素の良好ない
の事活眺つ上なじ分の 作そ動の点数しし及び自 に他場のし、及び自 に他場の に他場の にも を を を を を を を を を を を を を を を を を を	0						0	0	騒音	騒音		状態の保持
要相と景が希 「動げ な当」は観 利 少 重 更 る 各 要 目 は 資 用 性 要 な 運 更 る 要 で で 観 種 行 因	0						0	0	振動	振動		を旨として
し設定眺い点及又によかな発かっす景ののではまり で発かっているのではまり ででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では					0				りる土 水のに 濁よ	水質	水環境	調查、予測
れはの合源でと検を る汚者のをあは、稼け 返泥が眺眺る、稼け 域を利望望生そ働る を発用さす息れにお			0	()				質形 重 及 び 地	地地質形及び	他生の環に境係	及 び 評 価 さ
い生しれる 地ぞ伴そ うさてい 景		0							日照阻害	環境要素の	る環境その	れるべき環
を を を を を を を を を を を を を を			0	(息 す 及 重 地 べ さ 注 注 を 生 程 種 生 程 程 程 程 程 程 程 程 程 程 を を を を を を を を を		動物	要 、境生 素 予 の 体 の 及 系 多 び 的 様
が ことを に観点から には点から のの 活			0	()				及 重 要 な 落種		植物	評保生の確保 の確保 と ると と 及
動 の理由に を い よを い			0	()				生 徴 地 域 彩 が お ち ち ち		生態系	。 べび自 環 資査 環
う りゅう 。 注 ら 日 ・ す			0						景要 並景望主 観点 及 眺 に 源 望主 源 び 眺		景観	境要素 び評価 こい と 他 人 と 自 まま さい かい かい かい かい かい かい かい と
き生息地を			0						のいのと主要 場所を 活ったと 動合と	の V 場 G	合と 人と り 色 れ 然	る。 で 不 保 き 測 旨 な た な
้ง วั						ol			産 に 建 物 伴 設 う 工 副 事		廃棄物等	素きさ及よの負環 環れびり程荷境 境る評予度のへ 要べ価測に量の

別表第一 道路事業に係る標準項目(現行)

別表第二 大規模林道事業に係る標準項目(現行)

備 六五四 三 二一考 い よ を うこここりこいこ○	用及	E物は土 めの工地 が存作又		実工 施事	0	関境の医療		
のの表表では、 のの表表には、 をはおおいい。 おおいい。 ででで生て、 でに、 でに、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	行動車の走	林道の存在	稼働等機械の	切土工等		要		の環 区境 分要 素
に掲げる環境要素が に掲げる環境要素が に「主要な眺望点」 に「主要なり。 に「主要ながい。 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要ながい。」 に「主要なが、」 に「主要なが、」 に「主要なが、」 に「主要なが、」 に「主要なが、」 に「主要なが、」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる」 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 に「きをいる。 にしてもをいる。 にしてもをいる。 にしてもをいる。 にしてもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもで				0	当 りによる水の	水質	水環境	び評価されるべき態の保持を旨とし
との触れ合いの 地」とは、不特定 とは、不特定 とは、不特定 のかが、単の区		0			地質・地形及び	地形及び地質	その他の環境土壌に係る環境	0環境要素の良好な状
動の項に掲げる各 が の 項に掲げる各 が の 者 が りょ とは、 質 の 項 に掲げる 各 が り 性 要 の 質 に も の 項 に 掲げる 各 か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り き か り ら ま か り ら ま か り ら ま か り ら ま か り ら ま か り り き か り ち か り ら ま か り ら ま か り ら ま か り ら か り ら か り ら か り ら か り ら か り ち か り ち か り ち か り ち か り ち か り ち か り ち か り ち か り ち か り ち か り り か り り か り り か り り か り り か り り か り り か り り か り り か り り か り か り り か り り か り り か り り か り り か り り か り り か り り か り り か り り か り り か り り か り り か り り か り り り り か り り り り り り り り り り り り り り り り り り り り	0	0	0		目すべき生息地		動物	として調査、予測を他の確
要因により影響を要因により影響を要因により影響を要因により影響を要因により影響を要因により影響を要因により影響を要因により影響を要因により影響を要因により影響を要因により影響を要因により影響を要している表面により影響を要している。		0			落重要な種及び群		植 物	及び評価される保及び自然環境
を受けるおそれがあるとは、それぞれ学術上である生息地又は地域である生息地又は地域である生息地又は地域を眺望する場所をいる人の者が利用している人		0			る生態系 地域を特徴づけ		生態系	べき環境要素の体系的保全を旨
と自然との触れ と自然との触れ		0			観 主要な眺望点 び景観資源並び ま要な眺望点及		景観	たれるべき環境要 はれるべき環境要
た点から重要なもの とその他の理由に の活動の場を		0	_	_	活動の場との触れ合いの	ţ	易合いの活動の 人と自然との触	安素 利及び評価 がな触れ合いの確

供及存物工又土 施の工 備 の環 用び在の作は地 七六国四三二 考 実事 区境 分影 の事施 事ダ 両運資 貯み 渞 存原 事道 事原 建 響 のののののの印 の搬材 水ム 路 Δ 路 工用工 A 訬 在石 石 ののののののののの 表表表表表は にににににに、 おおおおおおお いいいいいい てててててに コココココス掲 要 運に及 池の Ø の の環 0 事道設 機 Ш 0 0 大 の供 存 械 区境 堤 付 路備 堤 行用び O 採 存用 在 跡 体 替 の及 取 体 い機 \mathcal{O} 分要 稼 在及 σ 設び る械 素 妣 \mathcal{O} 0) Ø) 存 I. 働 び O I. 置工 I. 車の 「「「「「」」 主主主注重粉げ 粉 大気 要要要目要じる 気 ľ 境 0 なななすなん環境人態眺べ地等境 ん等 質 環 σ 境 自 人と自然との触れの地質具をは、不性に、とは、不性質量をした。とは、不性でき生息地質しとは、不性できない。影響要用 然 騒 騒 的 音 音 構 成 要 素 O 振 振 合主特 、 良 動 い要定学重ばの 好 のなか術要い区 な 活眺つ上なじ分動望多若種んの 状 りる土 態 の点数し 及項 場かのく及びに 水砂 環 の 0 \circ のに 保 境 る者はび自掲げ と景が希「動げ は観利少重車る 持 濁よ を旨として調 は、不特定かつ多数の者が利用して、利用している景観資源を眺望する場合の眺望される重要の趣点が群落」とは、それでれい、重要の運行又は建設機械の稼働に伴い、重要の運行とは建設機械の稼働に伴い、重要の運行とは建設機械の稼働に伴い、重要の運行とは建設機械の稼働に伴い、重要の運行とは建設機械の稼働に伴い、 水 温 0 查 富 栄 0 養化 予 測及び評価 量溶 存 0 鹂 素 Ż れ てる場又れいれい景所は学発が ン水 る × 濃素 る人という。象別があるもの ŧ 度イ オ 環 境 質形重 地地 境のる土 要 徴希子で で少状あ 然 及要 質形 他環壌 素 0 Ł びな 及 の境に が 物質をい も ることを O 地地 び 環そ係 触 ħ 息す及重 動 要 `境生 合 地べび要 素予の物 物 そかう示のらず き注な 測体の 生日種 及系多 活 他重 び的様 の要 評保性 動 及重 植 0 理な び要 価全の 物 場 群な ... さを確 由も をい にのよを れ旨保 落種 ると及 · う。 りし べしび 生徵地 生 注 態づ域 きて自 態系 \circ 目 環調然 系けを す 境查環 る特 き生 境びと触人 要評しれと 景要並景望主 景 観なび観点要 御 息 眺に資及な 素価て合自 地を 望主源び眺 さ調い然 れ査のと いう。 動合と人 る `確の のいのと主 場の触自要 ベ予保豊 のいのと 場の触自 き測をか 活れ然な 動合と人 活れ然 環及旨な 産に建 素きさ及よの負環 物伴設 棄 環れびり程荷境 うエ 物 境る評予度のへ 副事 等 要べ価測に量の

別表第三 ダム事業に係る標準項目(現行)

別表第四 堰事業に係る標準項目(現行)

七六五四三二一券	供及存物コ 用び在の作	C 又 土 乍は 地				施 0	り工	の環 区境			
この表表において この表表において この表において この表において この表において この表において この表において この表において この表において この表において この表において この表において この表において この表において この表において この表において この表において この表において この表において この表において この表において この表において この表において このまた。	水区域の存在といった。	在堰及び護岸の存	掘削の工事	護岸の工事	堰本体の工事	両の運行 運搬に用いる車 資材及び機械の	建設機械の稼働	区分分響 要因			の環 区境 分素
主主主主国制 要要目要じる 要ななすなん環 人 眺 眺 べ 地 等 境						0	0	粉 じ ん 等	大 気 質	大気環境	環境の自然
自景点生及と素然した地地、、						0	0	騒音	騒音		的 構 成
触は、 と じ 響 要 は 、 で は 、 で は 、 で は 、 で は 、 で は 、 で は で が で 更 に で が 術 要 に の な か 術 更 い 区						0	0	振 動	振動		要素の良好な状
活動の場」とは、不特定かつの場」とは、不特定かの場所では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変				0				りる土 水砂 のに 濁よ	水質	水環境	態の
	0							富栄養化			保持を旨として調
	0							量溶 存 酸 素			查 予 測
多数の者が利用している 場合の眺望される場所 である生息地又は を は、 それぞれだ を は、 それぞれだ が が り に に い に に い に に い に れ と は い る の ま の は い る と は い る と も れ る り る り る り る り る り る り る り る り る り る	0							土水 底 の 泥	底 質 の 泥		及び評価さ
ス組を地術生あ	0							水 地 位 下 水 の	水水地 位質下 及水 びの		れるべき環境要
は は は は は は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が も が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が が は が が が が が が が が が が が が が	0							質 形 重 形 及 び 地 地	地地質及び	境のる土 他境に 環そ係	現要素
国然との触れ合いの活 を微であることを示す。 を微であることをの他 がり。 の他の観点から重	0							息す及 地 で 注 生 目 種		動 物	要 、 境生 素 予 の 物 測 体 系 と が
動 の 要 の 要 は も を に の	0							及 重 要 な 落 種		植 物	び解性の確ないない。
う り い 注 う 目 。 す	0							生 徴 地 態 づ 域 系 け を る 特		生 態 系	
べき生息地をいう。	0							景要並景望主 観なで観点を して 観点で で で で で で が に が で が が が が が が り び り び り び り び り び り り り り		景観	境要を として でとして できる をある。
を い う。	0							のいのと 場の触 活れ 動合 と		動合と人のと場の触れ然	れ 査 で る で で で で み で き 現 及 旨 環 及 に な に た た な た と が で た で き 現 を た で た で と で た で と で た た で た な に の た で た な に た な た た な た と で た な た と で と で と で と で と で と で と で と で と で と で と と で と で と で と で と で と で と で と で と で と で と と と と と と と と と と と と と
				0				産に建 物伴設 うエ 副事		廃棄物等	素きさ及よの負環 環れび野予度のへ 要べ価測に量の

別表第五 放水路事業に係る標準項目 (現行)

備 七 六 五 四 三 二 一考	供及存物工又土 用び在の作は地				施 <i>(</i>	り工	の環区境			
こののの表表においてでは、 というでは、 このの表表にはおいて、 このの表表にはおいて、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 といるといると。 といると。 といると。 といると。 といると。 といると。 といると。 といると。 といると。 といると。 といると。 といると。 とっと。 とっと。 と、 と。 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、	び 供 用 路 の 存 在 及	堤防の工事	掘削の工事	治施設の工事	両の運行 運搬に用いる車 資材及び機械の	建設機械の稼働	(境影響 要因			の環 区境 労素
「主要な外に がった は で が が ん 等 」 とい 「 主要な が 眺望点」 「 主要な が 眺望点」 「 主要な が またり で き とい が りん 等 」 とい か いん き しゅう しゅう いん き しゅう しゅう しゅう しゅう いん と しゅう					0	0	粉 じん 等	大気質	大気環境	境環境の自然
三量素が、 とは、 とは、 とは、 とは、 が とは、 が とは、 が とは、 が とは、 が とは、 が とは、 が とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とない。 とない。 とない。 とない。 とない。 とない。 とない。 とない。					0	0	騒 音	騒音		然的構成要素
加 れ れ 主 は 、 に に に に に に に に に に に に に					0	0	振動	振動		※の良好な状
動の場」とは観光を表現を表現を表現を表現を表現を表現の場と、これを表現のでは、これを表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	0		()			りる土 水砂 のに 濁よ	水 質	水 環 境	態の
は観利少重車る 資用性要な運行 不源しのな運行 特別では観	0						ン塩地 濃素下 度イ水 オの	位 地 下 水 の 水		保持を旨として調
か望るかびはより です景重な難を 多る観要と機響 数場資でと機を	0						水地 位下 水 の	質及び水		查、 予 測 及
者のをあはの受 が眺眺る、稼け 利望望生そ働る 用さす息れにお	0						質 形 重 及 び 地 地	地地質 及び	他の環境る	び評価され
てる場 以 い 景所は学 発が る観 を 地 術生 あ 人を い 域 上 する	0						地下水地 盤に位下 沈よの水 下る低の	地 盤	· 環境 その	いるべき環
という。 (な粒子状物 を放っ を放っ を放っ を放っ を放っ を放っ を放っ を放っ	0						息す及重 地ベび注 き 生 目種		動 物	要 流 境生 素 測 体 の の 及 系 が の の が の が の が の が の が の が の が り の が り る り び り が り が り が り が り が り が り が り が り が
れ合いの無いののほ	0						及 重 要 な 落種		植 物	評価されるという。
動 の要 の 理な も に の よ を い よ を	0						生徴地 態づ域 系けを ち特		生 態 系	び自然環境
つ りに 注う 目 ° す	0						景要並景望主 観なび観点要 眺に資及な 望主源び眺		景観	境要素 どして合い と自 され され を れを と
べき生息地をいう。	0						のいのと主 場の触自要 活れ然な 動合と人	の V 場 の	合と人 い触自 舌れ然	れる で で で き 環及 旨 な で き 環及 に の で き で き で の な で き で の で き で の で の で の に の に の に の に の の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に る に の に の に の に の に 。 に 。 に の に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。
) 5 °			()			産に建 物伴設 うエ 副事		廃棄物等	素きさ及よの負環 環れびり程荷境 境る評予度のへ 要べ価測に量の

備セ六五四三二一考	用び在の作は地					D 工 実事	事の境区影				
こここここここのの印表表ににおおいいいいいいててである。 ここので表表ににおおいいいいいででである。 ここのの表表ににおおいいいいいいいいいいいいででである。 ここのの表表ににおおいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいではにあった。	下式) 走行(地	上式)	(嵩を) と は 能 と 式) を 在 戦 道 施 設 又 は 帆	式) ままれる スロ を は 地 表式 又は 掘 割の 存在 (棚 割	工作物の撤去等	両の運行いる車 資材及び機械の	建設機械の稼働		分響要		の 環 区 境 分 要 素
主主主 注重要 次 が げる 環 要 な な 眺 眺 望 望 き 要 と と 望 望 き 悪 要 要 の か し 異 境 要 要 な か し と 望 望 き か き 要 要 か か し き 望 き か し き で あ か し き で あ か し か し か し か し か し か し か し か し か し か						0	0	粉 じ ん 等	大気質	大気環境	及 環 び
自 景 点 生 及 と 素 然 観 」 息 び は が と 」 と 地 地 、、 の と は 」 質 粉 影		0				0	0	騒音	騒音		れ的 る 構 べ 成 き 要
れ、不 は、、ん 要 B B B B B B B B B B B B B B B B B B	C) 				0	0	振動	振動		環素 境の 要 長 素 な
活 眺 つ 上 な じ か の の 項 に あ り 点 数 の る は び い も は び い も は び い も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で も は で は な で も は で は な で も は で は な で も は で は は で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な で は な な で は な な で は な な で は な で は な な な な					0			りる土 水砂 のに 濁よ	水質	水環境	状 態 の 保 持
とは、資用して、独自の関連では、、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、				0				質 形 重 及 び 地 地	地地質形及び	他生壌に保	を 旨 と して
定能・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			0					日 照 阻 害	環 ぞ の 要 素	る環境その	調 在 、 子 測
の合源 でと様を受 あのをあい、稼 お眺眺望 生それにお まれにお				0				息す 及 重 地 べ 注 注 な 生 日 程 程 る 程 名 名 注 る 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 る る る る る		動 物	要 ` 境 生 素 予 の 物 測 体 の 及 系 多
しれる 地ぞ伴そ てる場 又れいれい は学発 が 観を 地術生あ 人をい 域上する				0				及		植物	び的 様 評 保性 価全の さを確 れ 旨 保
という の又るもの 自う。 象は粒の 然。 微希子で少状ある か性物る				0				生 徴 地 態 づ j 系 け を る 特		生態系	る べ き 環 強 産 環
触 るの質 ことの観 を と 点 いっこう で らっぱい こう で ちゅう で ちゅう で ちゅう で ちゅう さんしゅう かんしゅう ないままれる はんしゅう かんしゅう かんしゅん かん かんしゅん かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゅん かんしゃ かんしゃ かんしゅん かんしゅん かんしゅん かんしゅん かんしゅん かんしゅん かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんし				0				景要並景望主 観なび観点及 眺に資及な 望主源び眺		景観	境 びと 触 人 要評 しれ と 素 価 て 合 自 さ調 い 然
活 他重 ° つ の ま も に の の の の の の の の の の の の の の の の の の				0				のいのと主 場の触 自然 と 動合と人	の V 場 の	合とというない。	れ を れ で で で で き 測 を か 環 最 に で で れ で れ で れ で れ で れ に れ に れ に れ に れ に れ に れ に れ に れ に れ に れ に れ に れ に れ に れ に れ に に に れ に に に れ に に に に に に に に に に に に に
い う り 注 う 目 す					0			産 に 建 物 伴 設 う エ 副 事		廃棄物等	素きさ及よの負環 環れびり程荷境 境る評予度のへ 要べ価測に量の

別表第七 飛行場事業に係る標準項目 (現行)

備七六五四三二一考	供及す用びす	字物 三	L 又土 乍は地		施 <i>0</i>)工 実事	の環区接			
この表においてこの表においててにおいててにません。	供用飛行場の施設の	航空機の運航	施設の存在飛行場及びその	の設置等の設置等場施設	両の運行 運搬に用いる車 資材及び機械の	建設機械の稼働	の区分の区分響要因		環境要素	
おいて「主要な人と自然し おいて「主要な眺望景観」 おいて「主要な眺望点」 おいて「主要な眺望点」 おいて「主要な地形及び地 おいて「主要な地形及び地 おいて「主要な地形及び地 おいて「主要な地形及び地 おいて「主要な地形及び地 おいて「主要な地形及び地 おいて「主要な地形及び地 おいて「主要な地形及び地	0	0			0	0	物窒素酸化	大気質	大気環境	環境の自然
					0	0	粉 じ ん 等			児要素 然的構成要素
M		0			0	0	騒音	騒音		素の良好な5
、「重要な主に、 、主要な眺望点から景観、 、主要な眺望点から景観、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 でで					0	0	振動	振動		状態の保持:
とは、不特 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	0						水 の 汚 れ	水質	水環境	るべき環境要素の良好な状態の保持を旨として調査、環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、
特定かつ多数のではより影響を眺望する場合ではより影響をはるから重要できる場合ではより影響をある。				0			り る 水 の 濁 る よ			
の者が利用して を受けるおそい を眺望すれる場 を眺望すれる。 をいまる。 をいまる。 をいまる。 をいまる。 をいまる。 をいる。 をいる。 をいる。 をいる。 とは、それぞい。 をいる。 とれる。 とれる。 とれる。 とれる。 とれる。 とれる。 とれる。 とれ			0				及び地質 重要な地形	質地形及び地	の環境 環境その他 他	予測及び評価され
ている人と自己を表現している人と自己を表現をいる人と自己を表現をいる。			0				息地 すべき生 生		動 物	要素 ・ 予測及び評価されるべき環境 ・ の体系的保全を旨として調査 生物の多様性の確保及び自然環
る人と自然との触れ合い をいう。 をいう。 をいう。 をいう。 をいう。 をいう。 をいう。			0				及び群落		植物	5評価される特性の確保を
40 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10			0				生態系 地域を特		生態系	るべき環境として調査及び自然環
の活動の場をいう。			0				眺望景観 並びに主要な 及び景観資源 主要な眺望点		景観	境要素 予測及び評価されるべき環 予測及び評価されるべき環
目すべき生息地			0				動 の 場 の 場 の の を の 触 と の を の を と の を と の を も と の を も と の を も と の を も と の を も と の を も の も と の も も と の も と の も と の も と の も と の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る る る る る る る る る る る る る		の触れ合い 人と自然と	されるべき環として調査、
を い う。				0			産物産・という副		廃棄物等	き環境要素の程度により予測の程度により予測

備七六五四三二一考			勿工又土 の作は地			の工		の環 区境		
地をこのの表すうの表表におおいいといいといいでは、各欄においいです。このの表もいいです。このの表もにおいいです。このの表もいいいいいいいいいいいいいいいいです。このの表もにおいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	河水の取水	在び貯水池の存発電施設の供用	在地及び施設の存地形改変後の土	施設の設置等切土工及び発電	両の運行いる車資材及び機械の	建設機械の稼働		分影響要因		の環 区境 分要 素
主主主 注重粉げる要要 目要じる すなん すなん 環					0	0	等粉 じ ん	大気質	大気環境	境環 要境 素の
人 眺眺 べ地等境 望望 き形 要素 結則 生及とは 然観 と はい、					0	0	騒音	騒音	児	自 然 的 構
で をは 無は、 をは、 を を とは、 を に で を に で に に に に に に に に に に に に に					0	0	振動	振動		成要素の
合主特 、「、、因 と	0	0					れ水 の 汚	水質	水 環 境	良好な状
動望多 若種んの の点数 し 及項 場かの く及びに 場かの はび 動ば		0		0			のよ土 濁る砂 り水に			態の保持
と 最が 本 本 本 動 が 本 重 車 る で 演 用 性 要 の な 要 の な で あ で あ で あ で あ で あ の の な の の の の の の の の の の の の の		이					水 温			を旨として
特をて 観種行因 定眺い 点及又に か望る かびはよ か群建り	及又に びはよ 群建り	0					化富 栄 養			て調査、
多る観 重落設影 数場資 要一機響 でとは械を をはない かいいい かいいい かいいい かいいい かいいい かいいい かいいい か		0					素溶 量存 酸			予測及び
が 新 報 知 望 生 他 さ も れ と し れ と と と と と と と と				0			度オ水 ン素 濃イ			評 価 さ れ
てる場 又れいれ い景所 は学発する もしい 域上する という の又るも		(び地重 地形要 質及な	び地 地形 質及	境他境係土 のそる壌 環の環に	るべき環
自う [®] 象は粒の 然 [®] 微希子で と で少状あ		0					息べ注種重 地き目及要 生すびな		動 物	評旨自生価と然物されば晩々
触 るの質こ れ こ観をと と点いを		0					群種重 落及要 びな		植 物	れて境多る調の様べる。
い そかう の 6 ° i t 低重 の 要 の 理な		0					態け特地 系る徴域 生づを		生 態 系	環予的確 境測保保 要及全及 素びをび
場 を にの よを		()				観眺主並観及眺主 望要び資び望要 景なに源景点な		景観	環評調確か人 境価査保なと 要さ、を触自 素れ予旨れ然
う。		0					動い触然人主 ののれとと要 場活合の自な		動い触然人 ののれとと 場活合の自	素れで育れた る測と合と べ及しいの きびての豊
き 生 息				0			物う事建 副に設 産伴工		等廃 棄 物	要きれ評測よ程のの環 素環る価及り度量負境 境べさび予にの荷へ

備 七六五四三二一考					供 M 用で	を存物 が在の	カエ又土)作は地			ħ	室の工 実事	Į.	対環 の境			
こここここの印表表表表表表表表表におおいいいいいてててててて、現場である。	廃棄物の発生	資材等の搬出入	稼機横等の	温排水	働 排 水	か家 排出ガス	在とび施設の存地形改変後の土	施設の設置等切土工及び発電	しゅんせつ工	両の運行 運搬に用いる車 資材及び機械の	建設機械の稼働		因の区分 環境影響要/		の環 区境 分 素	
「主要のない。 「主要をなっている。 「主要ななすない。」 「主要ななすない。」						0						化硫 物黄酸	大気質	大気環境	環 境 の 自 然 的	
要な人と自然と		0				0				0	0	化窒 物素 酸	-	境	目 然 的 構	
の と は 質粉影 触は、と じ響 れ、不は、ん 要						0						質子浮 状遊 物粒			成要素の	
のなか緑帯いて			0				0					じ 石 ん 炭 粉			良好な状態	
の活動の場」とは はいうの項に掲げて がおります。 がおりますがいる。 がおりますがいる。 はいうの項に掲げて		0								0	0	等 粉 じ ん			構成要素の良好な状態の保持を旨として調	
が が が が が が が の の の の の の の の の の の の の		0	0							0	0	騒音	騒音		当として	
は、不特定かつ多数の者が利用している人と自然との触れ合いの制度が開発している景観資源を眺望する場所をいう。例用している景観資源を眺望する場所をいう。少性の観点から重要である生息地又は地域の象徴であることその小のでは建設機械を眺望する場所をいう。が単の運行又は建設機械を機能に伴い発生する粒子状物質をいう。が単の運行又は建設機械を機能に伴い発生する粒子状物質をいう。が単の運行とはまり影響を受けるおそれがあるものであることを示す。		0	0							0	0	振動	振動		查、	
多数の者が眺める。 数の者の影響を がいます。とのである。 がいまする。 がいまする。 がいまする。 がいまする。 というできる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はい。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 といる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はい。 といる。 はいる。 といる。 といる。 といる。 といる。 とっ。 とっ。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と					0							れ水 の 汚	水質	水 環 境	予測及び評価されるべき環境要素	
利 型 望生 息 望生 息 北 に 化 に に に に に に に に に に に に に								0	0			のよ土 濁る砂 り水に			偏 さ れ ろ	
の景観というの 大というの 人というの 人というの					0							化 富 栄 養			。 べき 環 暗	
Tan Ta				0								水温			要素	
Meta									0			質 有 害 物	底質			
活 他 ら 。				0			0					び流 流向 速及	そ の 他			
場にもにもの							0					び地重 地形要 質及な	び地 地形 質及	境他境係土 のそる壌 環の環に		
注い							0					。をる生海息べ注種重)除も息域地き目及要 くのすに、生すびな		動 物	べき環境 要素 保全を旨として	
目すべき生息地をいう。				0			0					る生海 動息域 物すに			要として調調	
を い う。。							0					。をる生海群種重)除も育域落及要 くのすに、びな	-	植物	査保 で 予 で 測 自	
				0			0					る生海 植育域 物すに			及然 び環 評境 価の	
							0					態 け特 地 系 る 徴 域 生 づ を		生態系	さ体 れ系 る的	
							0					観眺主並観及眺主 望要び資び望要 景なに源景点な		景観	環評調確か人 境価査保な自 要れ予旨れ然	
		OI					0			Ol		動い触然人主 ののれとと要 場活合の自な		動い触然人 ののれとと 場活合の自	る測と合と ベ及しいの きびての豊	
								0				物 う事建 副に設 産伴工	=	廃 棄 物 等	る に 環 き り の の	
	0											棄産 物業 廃			境 関 り 素 び が 計 量	
						0						炭二 素酸 化		等 果温 ガ室 ス 効	価の さ程 れ度	

七 六 五 四 三 二 -	備考						カエ又土		ħi	重の工実事	0	日環 り境		
ここここここ ののののののの印 表表表表表表	3	廃棄物	廃棄物			り施家設	在地地 及形 び改	の切 設士 置工	両 運 援材 運 に 及	建設機	[6 5	区影 子響 要		の環
にににににに、 おおおおおおお いいいいいい ててててててに	1	70の発生	の搬出入	稼機働等の	排水	排出ガス	施設の存生	等 び施設	近行 いる 車 の で 機械の	機の稼働				区境 分 要素
主主主注重粉げる要要目要じるななすなん環						0					化 硫 物 黄 酸	大気質	大 気 環	環 境 の
人 眺眺 ペ地等境要素が、と望望点生及びは、然間とはない。			0			0					化窒物素酸		境	自然的構
で をは、と を を を を を に を に を に を に を に に に に に に に に に に に に に						0					質 子 浮 状 遊 物 粒			成要素の
合主特、「「因の いのなか術要い区 のなかれなじ分			0						0	0	等 粉 じ ん			良 好 な 状
動望多若種 んのの項点数 いのく 及びに場かのく おはび 自掲						0					質 有 害 物			・態 の 保 持
と景が希「動」 は観利少重車の 質用性要の各 不源しのな運要			0	0					0	0	騒音	騒音		保持を旨とし
特をい点及びはないなります。			0	0					0	0	振 動	振動		て 調 査、
多数場面 を 数場である。 数場である。 を が表現である。 を が表現である。 を が表現である。 はのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのでのである。 でのである。 でのである。 でのでのでのでのである。 でのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでの						0					惠	悪臭		予 測 及 び
が 眺 眺 る 、稼ける 利 望 生 そ そ 働 る お し れ る 地 ぞ 伴 そ					0						れ 水 の 汚	水質	水 環 境	評 価 さ れ
てる場別 スれいれ が 景所は学発 ある 観を地 術生 あるというの 又るも								0			の よ 土 濁 る 砂 り 水 に			るべき環
自う。象は粒の							0				び 地 重 地 形 要 質 及 な	び 地 野 及	境他境係土 のそる壌 環の環に	環 境 要素
であることを示す であることを示す との触れ合いの							0				息 す 及 要 き 注 な 生 毛 毛 毛 毛 毛 毛 毛 毛 た た た た た た た た た た た		動 物	れし然生 るて環物 べ調境の き査の多
活 他 重 。 動 の 理 な 由							0				群 種 重 落 及 要 び な		植 物	環、体様 環 済 測 保 を 要 素 及 全 保
を い う り 注 り う き い う き い う っ う っ た う っ ろ っ ろ っ ろ っ ろ っ ろ っ ろ っ ろ っ ろ っ ろ っ							0				態 け 特 地 系 る 徴 域 生 づ を		生 態 系	 評を 価と さと
目 * すべき#							0				観眺主並観及眺主 望要び資望要 景なに源景点な		景 観	環評調確か人 境価査保を触 要さ、予旨れ然
き 生 息 地 を い							0				動い触然人主 ののれとと要 場活合の自な		動い触然人ののれとと場活合の自	る 測と合と べ及しいのきびての豊
5								0			物う事建 副に設 産伴工		廃棄物等	るに環 ベよりへ 衆予の
	(0									棄 一 物 般 廃			境 境 要 表 素 評 量
						0					炭 二 素 酸 化		等 果 温 ガ 室 ス 効	価の さ程 れ度

別表第十 一般廃棄物焼却施設事業に係る標準項目(現行)

別表第十一 し尿処理施設事業に係る標準項目(現行)

備七六五四三二一考			カエ又土)作は地		施 σ j) 工	の 環 区 境			
こここここのののののののののののののののののののののののののののののののの	廃棄物の発生	施設の稼働	在 地及び施設の存 地形改変後の土	施設の設置等切土工及び処理	両の運行いる車 資材及び機械の	建設機械の稼働	分影響要因			の 環 区 境 分 要 素
「主要要な、株・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					0	0	粉 じ ん 等	大気質	大 気 環 境	れ 環 る
と望望点を生めばは、粉をしたは、やいとは、		0			0	0	騒音	騒音		境 要 構 成 要
触は、、とは、 れ、不は、 会要定 が要なかが が区 を変数の がないが を変数の がないが を変数の がないが を変数の がないが を変数の がないが を変数の がないが を変数の がないが にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはい にはいる にはい にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはいる にはい にはい にはい にはい にはい にはい にはい にはい		0			0	0	振動	振動		素 の 良 好 な
活眺望		0					悪臭	悪臭		状 態 の 保 特
と景が希の重要の画をといる。		0					水 の 汚 れ	水質	水 環 境	を旨として
定眺。 定が望する最低ではまり 多のでは、 を重要している。 を重要している。 を重要している。 を重要している。 を重要している。 を重要している。 を重要している。 を重要している。 を重要している。 を重要している。 を重要している。 を重要している。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をで。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をでを。 をできる。 をできる。 をでををでをでをでき。 をでをでをでをで。 をでをでをでをで。 をでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをで				0			りる土 水砂 のに 濁よ			調 查 、 予 測
の 合 源 で と は 械 を 受 け は 、			0				質 形 重 及 び 地	地質及び	境のる土壌の環に保	及 び 評 価 さ
しれる場所を いる り り り り している り り り り り り り り り り り り り り り り り り り			0				息 す 及 重 地 べ び 注 き 注 目 種		動 物	要 `境生 素 予 の 物 測 体 系 及 系 か
自うの象は粒の然のでがある。			0				及 重 要 な 落 種		植 物	び的 様 評 保 価 全 を 確 保 れ と 及
の触れ合いのはれ合いのは			0				生 徴 地 態 づ は 系		生 態 系	。
活動			0				景要 並 景望 主 観 な び 観 点 友 眺 に 資 な 望 主 源 び 眺		景 観	境と ととした として を を を で 部 価 で 調 の の の の の の の の の の の の の の の の の の
い う。 を い う。 注 目 す べ			0				の い の と 自 生 場 活 れ と と 動 合 と		動合と人のと と と と と またれ 然	れ 査 の と る 、 発 保 豊 き 測 を か 環 及 旨 な
べき生息地				0			産 に 建 物 伴 設 う エ 副 事		廃棄物等	要 評 程 環 素 価 度 境 さ に よ の れ よ n 名
を い う。。	0						物 一 般 廃 棄			るり負 ベ 予 御 き 測 の 環 及 量 境 び の

供及存物工又土 施の工 備 因環 七六되메드 用び在の作は地 実 事 ○印は、各欄に掲げて「粉において「粉において「粉において「粉において「粉において「粉において「粉をしたがいて」 の境 区影 働の施 在地地 の切 両運資 分響 棄 棄 稼 設 及形 設土 の搬材 設 要 運に及行用び 機械の び改 置工 物 物 の環 等及 n D 稼 機 排 排 施 変 区 境 が機る械 分要 発 生 設後 搬 働械 #4 7 K 水 出 のの 施 稼 素 ガ 等 存 土 設 車の 働 Ø ス 入 「主要な人と自然との触れ合いの活動の場」とは、不特定かつ多数の者が利用している人と自然との触れ合いの「主要な眺望景観」とは、主要な眺望点から景観資源を眺望する場合の眺望される景観をいう。「主要な眺望点」とは、不特定かつ多数の者が利用している景観資源を眺望する場所をいう。「主要な眺望点」とは、不特定かつ多数の者が利用している景観資源を眺望する場所をいう。「注目すべき生息地」とは、不特定かつ多数の者が利用している景観資源を眺望する場所をいう。「治じん等」とは、粉じん、ばいじん及び自動車の運行又は建設機械の稼働に伴い発生する粒子状物質をいう。「粉じん等」とは、粉じん、ばいじん及び自動車の運行又は建設機械の稼働に伴い発生する粒子状物質をいう。「粉じん等」とは、粉でん、ばいじん及び自動車の運行又は建設機械の稼働に伴い発生する粒子状物質をいう。「おける環境要素が、影響要因の区分の項に掲げる各要因により影響を受けるおそれがあるものであることを示す場げる環境要素が、影響要因の区分の項に掲げる各要因により影響を受けるおそれがあるものであることを示す場が、 化硫 0 物黄 気 気 の自 酸 質 環 境 化窒 然的 物素 構成 酸 要素 質子浮 0 状遊 物粒 Ø 良 等 粉 好 0 r な状態の W 質有 0 害 保持を旨として調査、 物 騒 音 音 振 振 0 動 動 子 測 悪 悪 臭 臭 及び評価されるべき環 れ水 環 n 質 汚 境 のよ土 濁る砂 り水に 境 要 び地重 7ド地 境他境係土 素 地形要 のそる壌 地形 質及な 環の環に 質及 息す及重 れし然生 れるべき環境要素にて調査、予測ないで調査、予測ないのののでは、できまれているできます。 0 地べび要 物 とその他の理由 き注な 生日種 活 群種重落及要 植 動 物 の場をいう。 びな 素及保確 び全保 により のをい 評を及 態け特地 4: 価旨び 系る徴域 態 さと自 . う 注目すべき生息地をいう。 生づを 系 観眺主並観及眺主 景 環評調確か人 境価査保なと 0 望要び資び望要 観 景なに源景点な 動い触然人主 ののれとと要 動い触然人ののれとと 場活合の自な 場活合の自 きびての豊 物う事建 副に設 るに環 廃 棄 産伴工 物 きりへ 等 環予の 境 測 負 棄 産 0 物業 要及荷 素びの 廃 炭二 等果温 価の 0 素酸 ガ室 さ程 化 ス効 れ度

別表第十二 産業廃棄物焼却施設事業に係る標準項目(現行)

別表第十三 最終処分場事業に係る標準項目(現行)

備 七 六 五 四 三 二 一考	供及す用びす				施 <i>0</i> .	り工	の 環 区 境			
こここここここの のの表表にににおおいいにおおおいいいでででです。 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1	廃棄物の搬入	廃棄物の埋立て	在終処分場の存	の設置等の設置等	両の運行 運搬に用いる車 で機械の	建設機械の稼働	分影響要因	/		の 環 区 境 分 要 素
主主主主生がいる。要なない。	0	0					物 ^窒 素 酸 化	大気質	大 気 環 境	要素の自体
自 景点 生息 が、 と と と し と は 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	0	0			0	0	粉 じ ん 等			然 的 構 成 要 d
れ、不は、、んん、 合主特 学 重 ば の の な か 術 要 以 区	0	0			0	0	騒音	騒音		素 の 良 好 な
活動の場」とは、不特定かつ多数、性望点から景観資源を眺望する場と、一名している景観資源を眺望する場で、一番の項に掲げる各要因により影響がの項に掲げる各要因により影響がの項に掲げる各要因により影響がある。	0	0			0	0	振動	振動		状態の保持
		0					悪臭	悪臭		を旨として
			0				水 の 汚 れ	水質	水 環 境	查 、 予 測
者 の を あ る は の の 受 け る る な 代 側 望 生 息 れ 代 伴 そ し れ る も 老 代 伴 そ		0		0			水 土 の			及 び 評価 さ れ
てる場所は地域上するな人をいる。ののは、			0				質 形 重 及 び 地 地	地質形及び	境のる土壌の環に保	るべき環境
自然との無 なることを か との無 た ことを			0				息 す 及 重 要 な 注 注 程 種		動 物	要素 ・ 党の ・ 予 測 及 び 的 様
い そ か う 示 の の ら 。 す 低 重 。			0				及 重 要 な 森 種		植 物	5 評価 される
の 期 も を に の よ を			0				生 徴 地 態 づ は 系 け を る 特		生 態 系	のべき 環境 査 環
う りい 注う 日 すべき			0				景 要 並 景 望 主 観 な び 観 点 及 眺 に 資 及 な 望 主 源 び 眺		景 観	境要をして調査を担ける。
き 生 息 地 を い			0				の い の か 他 自 き き き き き き く く く く く く く く く く く く く		動合と人のと場の触然	れ を で 企 で で で き 環 及 旨 最 な た は ち は ち は ち は ち に も に も に も に も に も に も に も に も に も に に も に も に に に に に に に に に に に に に
))				0			産 に 建 物 伴 設 う エ 副 事		廃棄物等	素ででは、 素では、 素では、 素では、 なでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、

備七六五四三二一考		及存物コ				施 <i>0</i>	三年	の 環 区 境			
いう。 この表において この表において この表において この表において この表において コープー	資材等の搬出入	事業活動工場等における	の存在埋立地及び施設	埋立工	工場防工及び護岸	両の運行いる車 資材及び機械の	建設機械の稼働	分影響要因			の 環 区境 分 要 素
「主要な 株 選 望 を 来 が 人 と と	0	0						物 室 素 酸 化	大気質	大 気 環 境	るべき 環境の 環境然
を表が、影響 自然とは、 とは、 影響	0					0	0	粉 じ ん 等			要構成要素
れ合いの活動の場」とは、不特定かいの活動の場」とは、不特定がつ多数の者が利用している。 「重要な種」及び「重要な種及びは、学術上若しくは希少性の観点から景観資源を眺望点から景観資源を眺望るから景観でいる。	0	0				0	0	騒音	騒音		が の 良 好 な
	0	0				0	0	振動	振動		状 態 の 保 持
		0	0					水 の 汚 れ	水質	水 環 境	を旨として調
か 望る か びはより					0			水 土 の 濁 り よ る			查 、 予 測 及
者が 眺望 ままれる ままれる 場に伴れい である。 ではるおそれの ではるおそれで ではるおそれで では、 ではるおそれではいい では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、			0					質 形 重 要 び 地 地	地質形及び	境のる土他環に環そ係	び 評 価 さ れ
は 景観をい は地域上又るもの の人という。 象は粒の			0					息 す 及 重 地 べ 注 な 生 目 種		動 物	要 、 境 生 素 予 の 体 の 及 系 多 び 的 様
然。 数 看 子 で あ と の b 性 物 る こ に か 質 こ			0					及 び 群 落 種		植 物	が 解性 価さを になる になる になる になる になる になる になる になる
合 と 点いを			0					生 徴地 地 ボ が け る ち ち ち		生 態 系	。 べき環 課 療査環
活 他 重 。 の 理 な も に の よ を い			0					景要並景望主 観なびに資 と で で で で で で で で で で で で で で で で で で		景	境要 を と し た と し た と ま を し て 調本 な と れ た と れ か の と れ か か と
う。 り 注目 す べき			0					のいの 触 と 主 要 活		動合と人のとり 場の触角	れ 査 の と る 、
o 生息 地 を					이			産 に 建 物 伴 設 う 工 副 事		廃棄物等	素きさ及よの負環 環れびり程荷の 境る評予度のへ 要べ価測に量の

別表第十四 公有水面の埋立又は干拓事業に係る標準項目(現行)

別表第十五 下水道終末処理場事業に係る標準項目(現行)

備七六五四三二一考			物工又土 の作は地			り工	の 環 区 境			
こここここののののののののは、、	廃棄物の発生	施設の稼働	在 地 及 び 施 設 の 存	施設の設置等切土工及び処理	両の運行 運搬に用いる車 変材及び機械の	建設機械の稼働	分影響要因			の 環 区 境 分 要 素
「主要な は 地 が る 環境 要な 水 眺 望 が 形 記 望 要な とと と と で かんと					0	0	粉 じ ん 等	大気質	大 気 環 境	れ 環 る べ き 環 衆
自景点生及と素がは、 8個と地地、、 20とは、質粉影		0			0	0	騒 音	騒音		境 的 要 構 素 或 要
れ、不は、んと要とは、のなか術要い区		0			0	0	振動	振動		素 の 良 好 な
活 眺望 な じ し 分 の 項 に み か の 項 に 掲 い ら 者 は び じ 掲		0					悪臭	悪臭		状 態 の 保 持
と は 親 親 利 ル 少 重 車 の る 後 で で で で で で で で で で で で で で で で で で		0					水 の 汚 れ	水質	水 環 境	を旨として
定眺い点がびばなり かっている。 をはまります。 をはまりませる。 をはまりませる。 をはまりませる。 をはまりませる。 をはまりませる。 をはまりませる。 をはまりませる。 をはまりませる。 をはまりませる。 をはまりませる。 をはまりませる。 をはまします。 をはまします。 をはまします。 をはまします。 をはまします。 をはまします。 をはまします。 をはまします。 をはまします。 をはまします。 をはまします。 をはまします。 をはまします。 をはまします。 をはまします。 をはまします。 をはまします。 をはまします。 をはまします。 をはまします。 をはまします。 をはまします。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をはまります。 をもまります。 をもまります。 をもまります。 をもまります。 をもまります。 をもまります。 をもまります。 をもまります。 をもまります。 をもまります。 をもまります。 をもまります。 をもももももももももももももももももももももももももももももももももももも				0			りる士 水砂 のに 濁よ			調 查 、 予 測
の 合 源 で と 枝 械 を 受 け あ る る 様 眺 眺 望 生 た そ 働 も れ に は ま れ に は ま ま れ に は ま れ た ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま			0				質 形 重 及 要 び な 地 地	地質及び	境のる土 (他の境に) 環そ係	及 び 評 価 さ
し れ る 場 ぞ 伴 そ れ る 場 所 は 学 発 が あ る 観 を 地 城 上 す る			0				息 す 及 重 地 べ び 要 き 注 な 生 目 種		動 物	要 `境生 素 予 の 物 測 体 の 及 ※
という。の又るもの 線然者子で が数者子あせ物る			0				及 重 要 群 な 落 種		植 物	び 所 保 性 値 を を 保 に れ に に に に に に に に に に に に に
の			0				生 徴 地 態 づ 域 系 け を る 特		生態系	る と し し て 調 然 境 査 環
活 他 重 ® の 理 な も に の			0				景要並景望主 観なび観点要 眺に資及な 望主源び眺		泉観	境びと触人 要評しれと 素価で調い さ調い然
い よを う りい さ 注う 目 °			0				のいのと主 場の触自要 活れ然な 動合と人		動合と人のと場の触自活れ然	れ 査 の 確 の と る 、 予 測 を き か き 潤 及 旨 な
べき生息地				0			産 に 建 物 伴 設 う エ 副 事		廃棄物等	要 評 程 境 素 価 度 に
を い う。。	0						物 産 業 廃 棄			る り 負 ベ 予 襉 の 環 及 量 境 び の

七六五四三二一	備考			物工又土)作は地		施 0	〇 工	の 環 区 境			
ここのの表表におおいてて 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		自動車の走行	人の活動	存在 び工作物の 出 形 改変後の土	物の 理 設 で に よ る 造 成 に て た よ る 造 成 上 た た た た た た た た た た た た た た た た た た	画の運行 運搬に用いる車 で機械の	建設機械の稼働	分影響要因	/		の 環 区境 分 素
主主主 注重粉げる 要要要なななすなん環境 人眺眺 べ地等境	=	0						物 窒 素 酸 化	大気質	大 気 環 境	るべき環境の自然
とは、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	F	0				0	0	粉 じ ん 等			境然的構成要素
A	=	0				0	0	騒音	騒音		素の良好なな
活眺望点かの項に掲り の場かの母にはない。 おいら見れる。 おいら見れる。 おいら見れる。 おいら見れる。 おいら見れる。 おいら見れる。 おいら見れる。	=	0				0	0	振動	振動		状 態 の 保 持
とは親利用となる各要因の運行と、では、資源では、関連の運行を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	=		0					水 の 汚 れ	水質	水 環 境	を旨として
定眺いる 点がらする を対する を対する を対する を対しては を対して により影響を でした。 としてにより影響を のの。	=				0			水 士 の 砂 濁 に り よ る			調 查 、 予 測 及
者の ・	=			0				質 形 重 及 び な 地 地	地質形及び	境のる土 他環境に 環そ係	び 評 価 さ れ
マンス は いい 発生する もの は ない う 。 象 は なの は 粒 の ない ちゅう 。 。	=			0				息 す 及 び さ 注 注 を 生 目 種		動 物	要 、境生 素 予 の 物 測 体 の 及 系 多 び 的 様
然。 と の 触 数 数 数 数 数 の る の の る の の る の の る る の の る る る の の る る の の る る の る る の る る る の る る る の る る る の る る る る る る る る る る る る る る る る る る る る	F			0				及 び 群 落 種		植 物	い 採性 価さを 旨と る と と と と と と と と と と と と り る と り と り
合い と点いを示すのらっす の の重	Ē			0				生 徴 地 態 び け を る ち		生 態 系	る べき 環 環 査 環
動 の 埋 お も に よ い う り	-			0				景要並景望主 観なび観点及 眺に資源び眺 望主源		景	境要 を と
う。 りい 注う 目 ・	-			0				のいのと自 場の触れ 活れ合と人		動合と人のと場の触自活れ然	れ 査 の 企 る 、 予 保 忠 き 環 及 旨 な
e 生 息 地 を	-				0			産 に 建 物 伴 設 う 工 副 事		廃棄物等	素きさ及よの負環 環れびり程荷境 境る評予度のへ 要べ価測に量の

別表第十六 土地区画整理事業に係る標準項目 (現行)

- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	備考			物工 又 土)作 は 地		施 6	り工	の 環 区 境			
ここのの表表ににおおいいい でてて でて 掲		自動車の走行	人の活動	存在 び工作物の 地形改変後の土	物の 理 世 世 世 は は に に に に に に に に に に に に に	画の運行 運搬に用いる車 で機械の	建設機械の稼働	分影響要因			の 環 区境 分 素
主主主 注重粉げる 要要要ななななすなん すなん環境 人眺眺 べ地等		0						物 室 素 酸 化	大気質	大 気 環 境	る 環 党 の 自
と望望。き形及びは、 野素が、影響素が、影響を として、 として、 として、 として、 として、 として、 として、 として、	-	0				0	0	粉 じ ん 等			境 要 素 成 要 。
れ、不 合主特 い要定 学 のなか 術要い区		0				0	0	騒音	騒音		素 の 良 好 な
活 眺 空 多 あ 点 数 の 点 数 の 点 数 し し し 及 び に も に に も に に に に に に に に に に に に に		0				0	0	振動	振動		状 態 の 保 持
と は 観利 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ り に り に り に り に り に り			0					水 の 汚 れ	水質	水 環 境	を旨として
定眺 点 点 及び群落 人 及び群落 人 な は 建 設 機 破 の 合 源					0			水 土 の砂 濁 に り よ る			調 查 、 予 測 及
者の を				0				質 形 重 及 び な 地 地	地地質形及び	境のる土 嬢の環に 環そ係	び 評 価 さ れ
マンス は				0				息 す 及 重 地 べ き 注 を 生 目 種		動 物	要 \ 境生 素 予 の 物 測 承 多
然。 と の 触 数 数 は 数 は 数 の る の の る の の る る の の る る る の の る る の の る の る る の の る の る る の る る の の る の る る の の る の の る る の る る の る る の る の る る の る る の る る る る る る る る る る る る の る る ろ る ろ	-			0				及 重 び 群 落 種		植物	び解保全を行れれる
れ こ 観をいう。 と た か う ら ら 重 が ままま も の の も 重 が ままま こ も の も 重 が ままま こ も の も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら も か ら か ら	-			0				生 徴 地 態 づ け を る ち		生態系	るべき環境 関連を表するが、
動 の 要 な 由 も に の と よ と い よ を い よ を い よ を い よ を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま を い ま と い ま を い ま と い ま を い ま を い ま を い ま と い ま を い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い ま と い				0				景要並景望主 観なび観点要 眺に資及な 望主源び眺		景	境要素 され され され こと
う りい 注 う 目 す				0				のいの とき 主要 おれたと 動合 としま ままま かんしょう かんしょう かんしょう かんしゅう かんしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう		動合と人のいのと場の触自活れ然	れ 査 の 企 る 、 予
き 生 息 地 を					0			産 に 建 物 伴 設 う エ 副 事		廃棄物等	素きさ及よの負環 環れびり程荷境 境る評予度のへ 要べ価測に量の

別表第十七 新住宅市街地開発事業に係る標準項目(現行)

備七六五四三二一考			勿工 又 土 つ 作 は 地		施の	り工	の 環 区 境			
ここのの表表 表表表にに 各 にに 名 おいいい いいて て て て 掲	自動車の走行	人の活動 おける	存在 地及び工作物の 上	物 T 工 等 に よる 造 成 上 で 成 上 工 及 び 盛 上	画の運行 運搬に用いる車 で機械の	建設機械の稼働	分影響要因	/		の 環 区境 分 素
主主 要要 は	0						物 窒 素 酸 化	大気質	大 気 環 境	る環で変われる。
と望望 き形 といい とは、 とは、といい 地 質 が、影響	0				0	0	粉 じ ん 等			境然的構成要素
れ、不 は、、「 重要 因 の の な か か を 要 の な か	0				0	0	騒音	騒音		素の良好な
活眺つ 上 な じ 分 の 項 に 掲 が し 人 及 び 自 掲 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が い ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら 島 が ら ら ら ら	0				0	0	振動	振動		状 態 の 保 持
と景が 希「重要の運動」である。 は観剤 性要の運動である。 では要の運動である。 では要の運動である。 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 を表現しては、 をまままままままままままままままままままままままままままままままままままま		0					水 の 汚 れ	水質	水 環 境	を旨として
定眺い 点がび 群落 人のでは 建設機 でいる 景観 真要」と と 数場 でと と しょり 影響を としまり にょり かっき ない こうしゅう しょう はい				0			水 土 の 砂 濁 に り よ る			調 查 、 予 測 及
者のを が 眺望望生 生れれる 型 は、 の を に の を し、 の を し、 の に に の に に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に 。 に の に 。 に の に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に に に に に に に に に に に に に			0				質 形 重 及 び な 地 地	地質形及び	境のる土 他環境に 環そ係	び 評 価 さ れ
てい場所 以れい発生するもの る景様をいめる 域上するもの というの象は粒の			0				息 す 及 び さ 注 注 を 生 種		動 物	要 、境生 素 予 の 物 測 体 の 及 系 多 び 的 様
然。 と の き 性物 る の 触 る の の を 性物 る の の の の の の の の の の の の の の の の の の			0				及 重 び 群 落 種		植 物	評保全 価さを 音 に る と と と と と と と と と に る た に る た ら し る と ら し る と ら と ら と ら と ら と ら と ら と ら と ら と ら と
合い と点い での そかう示 の のら。 活 他重			0				生 徴 地 態 づ け を る 特		生 態 系	るべき環境査環境
動 の 理な も にの よを い う り い			0				景要並景望主 観なびに 資立 した で で で で で で で で で で で で で で で で で で		景	境要 極 人 と 触 人 と 無 と し れ 合 自 な ご 調 面 で 調 面 で 調 む む か と
ク 注 う 目 す べ き			0				のいのと主 場の触自然 活れと人		動合と人のと場の触自活れ然	れ
o 生 息 地 を				0			産 に 建 物 伴 設 う 工 副 事		廃棄物等	素きさ及よの負環 環れびり程荷境 境る評予度のへ 要べ価測に量の

別表第十八 住宅団地造成事業に係る標準項目 (現行)

備 供及存物工又土 施の工 の環 用び在の作は地 実 事 七六五四三 区分響要因 この表において この表において 物の建設に工作 物 の こ の 両運資 存地地 建 工事並びに工作工等による造成 土工 の印 稼場 在及形 の搬材 材 設 の表において お 個に# 等 働及 び改 運に及 機 の環 工変作後 行用いる 0 び 及 び 械 区境 お 搬 事 の 分要 盛土 出 業 物の 稼 素 入 の土 車の 働 「主要な人と自然との触れ合いの活動の場」とは、不特定かつ多数の者が利用している人と自然との触れ合いの活動の場をいう。「主要な眺望景観」とは、主要な眺望点から景観資源を眺望する場合の眺望される景観をいう。「主要な眺望点」とは、不特定かつ多数の者が利用している景観資源を眺望する場所をいう。「主要な眺望点」とは、不特定かつ多数の者が利用している景観資源を眺望する場所をいう。「主要な地形及び地質」、「重要な種」及び「重要な種及び群落」とは、それぞれ学術上又は希少性の観点から重要なものをいう。「動きな地形及び地質」、「重要な種」及び「重要な種及び群落」とは、それぞれ学術上又は希少性の観点から重要なものをいう。 主要な眺望景観」とは、 主要な眺望景観」とは、 日すへ: 物硫 大気環 (気質 黄 境 0 の 酸 化 境 自 1然的 物窒 素 構成要素 0 酸 化 状 浮 の 良好 物遊 質粒 な状 子 態の 粉 ľ 0 保持を旨として調 W 等 騒 騒 音 音 0 0 0 振 振 查、 動 動 0 0 予測及び評 水 の 質 環 汚 価されるべき環境 れ 水土 の砂 濁に ŋ ļ る 要 質形重 境のる 素 地地 及要びな 他の環に係 質形 及び 地地 息す及重 べび要なき注な 地 物 素予の物 | 測及び評し体系的保・ 生目種 及重 植 価される。 び要 物 群な 落 種 えるべき として 自 生徵地 生 態づ域 態 系けを 系 環調然 る特 景要並景望主 景 境びと触人 要評しなれた 要評して合自 観なび観点要 観 眺に資及な 望主源び眺 さ調い然 れ査のと る、確のベラ保豊 のいのと主 動合と人 場の触自要 のいの 場の触自 き測をか 活れ然な 動合と人 活れ然 環及旨な 産に建 素きさ及よの負環 物伴設 棄 環れびり程荷境 う エ 物 境る評予度のへ 副事 要べ価測に量の

別表第十九 工業団地造成事業に係る標準項目(現行)

別表第二十 工場及び事業場事業に係る標準項目(現行)

備七六五四三二一考	fl F	供及存物エ又土 施のエ 用び在の作は地 実事					の E 区 均			
ここの表においてこれを欄においててこれの表においててこれを開いてている。	資材等の搬出入	の稼働工場及び事業場	存在 び工作物の 土	物 工 事 並 び に よ る 造	両の運行 運搬に用いる車 で機械の	建設機械の稼働	の区が見り			の 環境 要素
主主主注重粉げる要要目またがった。		0					物 硫 黄 酸 化	大気質	大気環境	環境の自然
、 大と自然とした、 影望景観」とは、 がき生息地」とは、 がき生息地」とは、 がき生息地」とは、 がき生息地」とは、 がじ望景観」とは、 がじ響がある。	0	0					物 ^窒 素 酸 化			然的構成要素の
れ、不は、ん。要 合主を実には、の のなか術要い区	`不は ` ん 要 主特 、 B 因 要 定 単 重 ば の な か 術 要 い 区	0					状 物 質 粒 子			良好
動望多若種 んの項 と 数 し 人 及 び 自 場 か ら 者 は び 自 掲	0				0	0	粉 じん等			な状態の保持
は観利少重車る各要の場では観行の観音を変更の運動を変更のである。	0	0			0	0	<u></u> 騒 音	騒音		保持を旨として調
か望るかびはよっす景ら群建り	0	0			0	0	振動	振動		查 、 予
多数の者が利用した。		0					水 の 汚 れ	水質	水 環 境	測及び評価される
てる場別 又れいれ が 発 は 横 所 を 地 域 上 する る と い う の 又 る も				0			水 の 濁 り る			れるべき環境要素
然の徴希子でという状態を			0				質 形 重 及 び 地 地	地質及び	境の 環 に 係	安素
触れ 合いの で活動 を示す。			0				息 地 さ べ き 生 目 種		動 物	要素 、予測及び の体系的様
の 場 も に の よ を い よ			0				及 び 群 落 種		植 物	評保性の確なに
° 注 う 目 ° す ベ			0				生 徴 地 態 づ け を ち ち		生 態 系	るべき 環境 として調査
き 生 息 地 を い う 。			0				景 要 並 景 望 主 観 な び に 資 な 队 壁 主 源 び 眺		景 観	境要素 として調査 として調査 れと自然と
) 5 °			0				の い の と 主 場 の 触 自 然 な 所 合 と 人		動合とと 人と りゅう かん かん かん かん かん かん かん かん がん れん 然	れるべき環 の確保を旨 をの豊かな
				0			産 に 建 物 伴 設 う 工 副 事		廃 棄 物 等	要素でいる。要素である。
		0					物 産 業 廃 棄			のべき環境の子測及び

		三物工又土 の作は地			の工 実事 の環 区境				
○印は、 このの表においいて このの表においいて このの表においいて このの表においいて このの表においいて このの表においいて このの表においいて このの表においいて このの表においいて このの表においいて このの表においいて このの表においいて このの表においいて このの表においいて このの表においいて このの表においいて このの表においいて このの表においいて このの表においいて このの表においいて このの表においいて このの表においいて このの表においいて このの表においいて このの表においいて このの表においいて このの表に においいて こののの表に においいて こののの表に においいて こののの表に においいて こののの表に においいて こののの表に においいて こののの表に においいて こののの表に においいて こののの表に においいて こののの表に においいて こののの表に においいて こののの表に においいて こののの。 においいて こののの。 においいて こののの。 においいて こののの。 においいて こののの。 にいて にいて にいて にいて にいて にいて にいて にいて	登 本 等 の 損 日 フ	t 在及形 び び 工 変 作 物 の	物 エ エ 切 の 事 並 ご に よる	両の運行いる車 資材及び機械の	建設機械の稼働	分景量至	要		の 環 区 境 分 要 素
「主要な 挑戦望 「主要な 歌戦望 「主要な 歌戦望	0					物 窒 素 酸 化	大気質	大 気 環 境	及 環 び 逆 延 価 自 さ た
主量点 生力 を表が、影響 上は、 とは、 かとは、 とのとは、 とのとは、	0			0	0	粉 じ ん 等			れ的構成を要素
れ、たは、、「重要因の区分が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、<!--</td--><td>0</td><td></td><td></td><td>0</td><td>0</td><td>騒音</td><td>騒音</td><td></td><td>境の良素な状</td>	0			0	0	騒音	騒音		境の良素な状
動望多 若種んのの点数 し一及項場かのく及びによる 場かのはる よび自掲	0			0	0	振動	振動		態 の 保 持
と景がる「重の運行」は、資用して、観視の運行」には、資産の運行のでは、できません。			0			りる土 水砂 のに 濁よ	水質	水 環 境	を旨として
定眺いる 点が群落 人のび群落 人のび群落 人ののでは 建設機 後れる あいる 数 数 ののののののののののののののののののののののののののののののののの		0				質 形 重 要 び 地 地	地質及び	境のる土他環境に環そ係	調 查 、 予 測
の者がはとはでを受けるとはでのののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののの<		0				息 す 及 び さ 注 注 を 生 毛 種		動 物	要 、境生 素 予 の 物 測 体 の 及 系 多
している 地ぞれがある は 大い 発生する してい 最 が あ は 地 上 な が ある も という		0				及 び 群 な 落 種		植 物	び解性のない。
自 う 。 象は粒の 然。 徴希子で と で少状あ の b 性物る		0				生 徴 地 態 バ け を る ち		生 態 系	る べ き 環 調 境 査 環
触 る の 観 ことを 示す の の 面 話		0				景要並景望主 観なび観点及 眺に資文な 望主源び眺		景	境びと触人 要評しれと 素価で調いな お査のと
四 動 の 理 な 由 も を に の		0				のいのと主 場の 場		動合と人のと場の触角活れ然	れ 堂 の と の と の 本 の と の 本 の と の 本 保 豊 き 測 旨 な
い う りい : 注う 目 : す			0			産 に 建 物 伴 設 う 工 副 事		廃棄物等	素きさ及よの負環 環れびり程荷境 境る評予度のへ 要べ価測に量の

別表第二十一 流通業務団地造成事業に係る標準項目(現行)

備 供及存物工又土 施の工 の環 用び在の作は地 実 事 七六五四三 区分響要因 この表において この表において 工 事 事 並 び に よ る 造 成 工 作 成 こ の 物工 両運資 存地地 建 稼働とび の印 材等の 在及形 の搬材 設 表においては、各欄にお 表に び改 運に及 機 の環 工変作後 行用いるが機械 械 区境 お 搬 事 の 分要 出入 業 物の 稼 素 の土 車の 働 「主要な人と自然との触れ合いの活動の場」とは、不特定かつ多数の者が利用している人と自然との触れ合いの活動の場をいう。「主要な眺望景観」とは、主要な眺望点から景観資源を眺望する場合の眺望される景観をいう。「主要な眺望点」とは、学術上若しくは希少性の観点から重要である生息地又は地域の象徴であることその他の理由により注目すべき生息地をいう。「重要な地形及び地質」、「重要な種」及び「重要な種及び群落」とは、それぞれ学術上又は希少性の観点から重要なものをいう。「重要な地形及び地質」、「重要な種」及び「重要な種及び群落」とは、それぞれ学術上又は希少性の観点から重要なものをいう。 主要な眺望景観」とは、 主要な眺望景観」とは、 日すへ: 物硫 大気環 (気質 黄 境 0 の 酸 化 境 自然的 物窒 素 構成要素 0 酸 化 状 浮 の 良好 物遊 質粒 な状 子 態の 粉 ľ 0 保 W 等 持を旨として調 騒 騒 音 音 0 0 0 振 振 查、 動 動 0 0 予測及び評 水 の 水 質 環 汚 価されるべき環境 れ 水土 の砂 濁に ŋ ļ る 要 質形重 境のる 素 地地 及要びな 他の環に係 質形 及び 地地 息す及重 べび要なき注な 地 物 素予の物 測及び評し 体系的保 生目種 及重 植 価される。 び要 物 群な 落 種 えるべき として 自 生徵地 生 態づ域 態 系けを 系 環調然 る特 景要並景望主 景 境びと触人 要評しれたと素価で合自 観なび観点要 観 眺に資及な 望主源び眺 さ調い然 れ査のと る、確のベラ保豊 のいのと主 動合と人 場の触自要 のいの 場の触自 き測をか 活れ然な 動合と人 活れ然 環及旨な 産に建 素きさ及よの負環 物伴設 棄 環れびり程荷境 う エ 物 境る評予度のへ 副事 等 要べ価測に量の

別表第二十二 複合開発用地造成事業に係る標準項目 (現行)

七六五四三二地	備二一考	-		勿工又土 の作は地			1 工	の E 区 担			
この表において、気において、気において、気において、気において、気において、気において、気において、気において、気において、気において、気において、気において、気において、気において、気において、気にはいいて、気にはいいて、気にはいいて、気にはいいて、気にはいいて、気にはいいでは、各欄に掲		自動車の走行	施設の利用	存在 地形改変後の土	物 エ エ 切 切 土 工 等 に よ る 造 成 土 作 成 土	両の運行 運搬に用いる車 で機械の	建設機械の稼働		y 要		の 環 区 労 素
「主要な地域」「主要な地域」「主要ない。」「主要ない。	ける環境	0						物 室 素 酸 化	大気質	大気環境	される べき 然
自景点 生及とは	素が、影影	0				0	0	等 粉 じ ん			環 境 境 要 素 要
触は、、 とは、、 「 会は、、 「 会は、、 「 をは、、 「 をは、、 「 をは、、 「 のなか」 が 新要い	要 因 ず の	0				0	0	騒音	騒音		素 の 良 好 な
活眺つ 上なじ 動望多 若種ん	シンタ の 項 に	0				0	0	振動	振動		状態の保持
は、一般を対して、一般を対して、一般を対して、一般を対して、一般を対して、一般を対して、一般を対して、一般を対して、一般を対して、一般を対して、一般を対して、一般を対して、一般を対して、一般を対して、	が げる 各 要		0					水 の 汚 れ	水質	水 環 境	を旨として
定眺い 点及又は か望る かびは つす景 ら群類 多る観 重落	スに はよ きり				0			りる土 水砂 のに 濁よ	_		調査、予測
の合源 でと棚者のを あはの	式 を 受 け る			0				質 形 重 及 び な 地 地	地地質形及び	境のる土地の環境に環そ係	及び 評 価
しれる 地 ぞ 付 が な 場 所 は 端 所 る し が 発 生 す が 上 す が 上 す は 上 す が 上 す も し か し が 上 す か し か し か し か し か し か し か し か し か し か	半されがある			0				息 す 及 重 地 べ 注 注 生 生 程 程		助 物	要、境生 素予の物 測 系多
というの果然 自からの象徴 とのめませ	立の で 大あ			0				及 重 要 な 群 種		植物	び評価をを情れれる
触 る の 質を れ こ 観を い た か う の ら っ	<u> </u>			0				生 徴 地 態 づ け を る ち		生態系	- るべき 環 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
活動の の 理なも にの				0				景要並景望主 観なび観点要 眺に資及な眺 望主源び眺		景観	境要素 さい ない として 調 ない という はいい こうしん はいい こうしん はいい こうしん いいい こうしん いいい こうしん いいい こうしん いいい いいい はいいい いいい はいいい いいい いいい いいい いいい
よを り う。 注う 目。				0				のいの と 主 場 の 計 れ 然 と 人		動合と人のとと 場の触角 活れ然	れ 査 の 確 保 と る べ 予 測 を き 潤 及 旨 な
べき生息					0			産 に 建 物 伴 設 う 工 副 事		廃棄物等	素きさ及よの負環 環れびり程構の 境る評予度のへ 要べ価測に量の

別表第二十三 レクリエーション施設事業に係る標準項目(現行)

供及存物工又土 施の工 借 の環 七六五 四三二 用び在の作は地 実 事 区 境 地 分影 を 0 存地地 物工工切 両 運 資 建 響 O 印 在及形 の事 等 ± の搬材 O ル 動 設 要 う表表表は、 表 表 表 に に に 建並 フ び改 運に及 車 に I. 機 の環 因 設 び よ に る 場 O 工変 及 行用び 械 区 境 おおお おおお各 び 分要 の 走 作後 い機 の いいいててて 欄 工 造 盛 る械 稼 Ų١ 供 行 物の 素 7 7 7 用 の土 作成土 車の 働 掲 主 È È 注重粉げ 物窒 大 さ環 目要じすなん 要要要 気 気 る 素 れ境 \circ な 環 環 なな 酸 質 るの 人 眺 眺 地 等境 化 境 ベ自 と望望自景点 き形と 要 き然 素 等粉 環的 息びはが地地、 然観 じ 境 構 \bigcirc \bigcirc \circ と の 地地 ٢ 要成 W とは 質粉影 粉じん、ぼ 素 要 触は لح 素 騒 騒 不 ħ は n 音 音 合主特 \circ 0 良 V 要定 学 重ばの 好 Ø な 術要い区 か な 上なじ分を 活眺 状 振 振 動望多 態 動 動 - 及項 Ø) 点数 l \bigcirc \bigcirc \circ O 場」と景が < 及びに 保 はび自掲 持 - 動 げ 希 を 水 水 少重車る性要の各 旨 は観利 環 O 質 資 用 ٢ 汚 境 不源 のな運要 L れ 観 種 行 因 て 特を 点及又に かびはより 定眺い 調 か望るっす景 りる土 查 水砂 かす景観 のに 重落設影 予 濁よ 数場資 要一機響 測 Ø 合 源 で と 械 を 及 質形重 境のる土 地地 あはの受る、稼け 者のを び 及 要 質形 他環壌 が眺眺 評 の境に びな 及 そ働る 利望望 生 価 環そ係 地地 75 用き 息れにお れる場 てい景 あ。 地ぞ伴そ 息す及重 要、境生 動 又れいれは学発が 地べび要 素予の物 物 き注な 測体の 地術生あ 及系多 生目種 をい 域上するの又るも 人と自 ر أ أ び的様 評保性 及重 植 う 象は粒の 価全の び要 物 徴希状であ 然 群な さを確 ٢ であることその! 状物質をいう。 れ旨保 落 種 0 ると及 触 べしび 生徵地 生 ħ きて自 態づ域 態 合 系けを 系 環調然 V, る特 境査環 0 他重 活 景要並景望主 境びと触人 景 の要 動 要評しれと 観なび観点要 組 0) 理な 眺に資及な 素価て合自 場 由により注目す Ь さ調い然 望主源び眺 を O れ査のと いう。 を る `確の のいのと主 動合と人 場の触自要 のいのと ベ予保豊 ō 0 活れ然な 場の触自 き測をか 動合と人 活れ然 環及旨な 産に建 素きさ及よの負環 ŧ 物伴設 棄 環れびり程荷境 生 0 境る評予度のへ う エ 物 息 副事 要べ価測に量の

別 表 第 + 四 ゴ ル フ 場 事 業 に 係 る 標準 項 目 現 行

七六五	備四三二一考			勿工又土 の作は地			10 工	の E 区 担			
ここここ	世をいう。の表において、各欄において、	スキー場の供用	自動車の走行	存在 地及び工作物の 上	物 T T 等による 造 K T K K K K K K K K K K K K K K K K K	両の運行 運搬に用いる車 の車	建設機械の稼働	分易	形 野 更		の 環 区 境 労 素
「主要な眺望	「注目すべき」「粉じん等」「粉じん等」		Ol					物 窒 素 酸 化	大気質	大気環境	されるべ
望泉観」とは、	生息地質粉影		Ol			0	0	等 粉 じ ん			き 環境 要素 素 要素
触れ合いのなのなか	と は 、 、 「 重 要 因 の に が 、 ば い に の に る い の に る の の の の の の の の の の の の の の の の の		o			0	0	騒音	騒音		素の良好な
活動の場」の多数の者	上若 し な 種 」 及 び 自 は は 掲 り る び も は も り も り も り も り も り も り も り も り も り		Ol			0	0	振動	振動		状 態 の 保 持
とは、不特 が利用して	希少性の 動車の運行 変な種 の観	0						水 の 汚 れ	水質	水環境	を旨として
定かつ多数 眺望する場 り	点から重要 及び群落」 とは建設機響				0			りる土 水砂 のに 濁よ			調 查 、 予 测
の者が利用はます	である生息 とは、それに			0				質 形 重 アンファイン アンファイン アンファイン アンファイン アンファイン アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・ア	地質及び	境のる土 他環境に 環そ係	及 び 評 価
している人	地 又 は 世 来 れ が あ ま も も も も も も も も も も も も も			0				息 す 及 び さ 注 注 を 生 種		動 物	要 、境生 素 予 の 物 測 体 の 及 系 多 び 的 様
と 自 然 と の	の象徴である物である			0				及 重 要 な 落種		植 物	評保 供 価 全 を 旨 と る と る と る と る る る る る る る る る る る る
触 れ 合 い の	ること その の観点から できいう。			0				生 徴 地 域 を 系 る ち		生 態 系	る べ さ 環 調 療 套 環
活動の場を	他 の 理 由 に			0				景要並景望主 観なび。 で で 資 で で 資 で で り で で り で び り で り で り で り で り で り で		景観	境要を が評価として調本 されるいの
い う。	より 注 目 す			0				のいの と 自 要 活		動合と人のとと 場の 無 活れ 然	れ 査 の 企 を の 確 保 を か き 測 及 旨 な
	べ き 生 息				0			産 に 建 物 伴 設 う エ 副 事		廃棄物等	素 きさ及よの負環 環れびり程荷境 境る評予度のへ 要べ価測に量の

別表第二十五 スキー場事業に係る標準項目(現行)

	備二一考		を存物コ び在の作				の工実事	の 5 区 5			
このの表表におおいて つっつ つっこ この 表表に おおい て つっこ つっこ ここ ここ の 表表に おおい て て つっこ つっこ こうこう こうこう こうこう こうこう こうこう こうこう こ	り 印は、 、 各 欄	土石の搬出入	設機械の稼働プラント及び建	土 石 の 採 取	土石採取プラン	両の運行と関係は用いる車資材及び機械の	建設機械の稼働	分層響	要		の 環 区 境 分 要 素
主 主 主 。 注 重 形 要 要 要 日 要 じ な な な す な ん	分ごの環境	0	0					物 窒 素 酸 化	大気質	大 気 環 境	測 環 及 び 評 価 紙
自 景点 息 想 と し と し と に し に し に し に し と に に に に に に に に に に に に に	素が、、	0	0			0	0	等 粉 じ ん			され お 成 で 要
触は、、 とは、、 A	要 、 因 ず の	0	0			0	0	騒音	騒音		き環境要素の良好を
活 眺 つ 上 な じ 動 望 多	し の 項 バに	0	0			0	0	振動	振動		素 な 状 態 の 保
者が 希少性 要な 選系 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	が ボ ボ る 各 要		C)	0			りる士 水砂 のに 濁よ	水質	水 環 境	持を旨として
定眺い 点がび群落 かつする 銀 数場資 要	より影響			0	0			質 形 更 び 地 地	地質及び	境のる土他環境の境に環そ係	調 查 、 予
者のをあはの	家 け 動 る			0	0			息 す 及 び さ 注 注 程 種		動 物	要 、境生 素 予 の 物 測 体 系 及 な め ば
している 地 又 は 学 名 は い る 景 所 は 学 術 生 が イ な 板 を い 域 上 す	れ れが あ っる			0	0			及 び 群 落 種		植 物	び 部保全 を 音と る れ る と と と
というの又は 自うの数 然の とのの	立 の で あ る			0	0			生 徴 地 態 づ け を る 特		生 態 系	るべき環境査環境
い そかう の のら	E と を 示 す			0	0			景要並景望主 観なび。 観点及 眺に 望主源び眺		景観	境 要 を と し て 調 で さ し て さ れ ら ら い る さ も る お る も る も る も る も る も る も る も る も る
活 他 重 要 な も に の	D			0	0			のいの 場の と 自 要 活 れ 会 人		動合と人のと場の触自活れ然	れ を で 確 保 保 を で き 環 及 に に に に に に に に に に に に に
い う り り 注う 目。				0	0			産に建 物 伴設 う エ 副 事		廃棄物等	素きさ及よの負環 環れび評予度の 境る評予度のへ 要べ価測に量の

別表第二十六 土石の採取事業に係る標準項目(現行)

別表第二十七 港湾計画に係る標準項目 (現行)

六五四 三二一	備 考									
この表において「この表において「この表において「「この表において「「この表において「「この表において「「」」	通主施設な臨代港の供港	施設、荷さばき 世界 で 一	設の供用 解施	埋立地の存在	設の存在郭施	設の存在が成施	野り景響要は	至至	の 区 対 分 夏	별자 논린 퍼즈 드代
「主要な地形及び」「主要な眺望点」「主要な眺望点」」		0					窒素酸化物	大気質	大気環境	及び評価され
然との触、 とは、不 とは、不 とは、不 とは、不	0						騒音	騒音		れるべき環境悪
い要定 学術と がつる 活望等の がつる 動に数 の に数	0						振動	振動		要素良好な状態の見
」とはで、 はで、 はで、 はで、 が利用 性で、 性で、 をとはで、 をといる。 とはで、 を表して、 を表して、 を表して、 ので、 を表して、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので					0		水 の 汚 れ	水質	水環境	保持を旨として
定眺い 点及に か望る かびよ つす景 ら群り					0		及び地質 地質形	質地形及び地	の環生 環境その他 他る	て調査、予測
者 の を あ は受					0		き生息地 で注目すべ		動物	価されるべき環境で 系的保全を旨として がなった。 を がいるが、 で で で に で の の の の の の の の の の の の の の の
自 う 。 象 は の					ା		び 群落 種 及		植 物	0環境要素 にの確保及び自
然との触れ合いの活動があることを示す。					ା		系 がける生態 生態		生態系	- 予測及び評 で本
での他の理由にから重要なもの				(기		景主 観ま 変源 が ま要な が が ま い が い ま い に れ い に れ い に れ い に れ に れ に れ に れ に れ		景観	人と自然 を環境要素 でき環境をある。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 でき
動の場をいう。 要なものをいう。					0		動 の は と の は の 活 と の 触 の 活 と の れ と の れ と の た れ と れ と れ と る た れ と も と も と も と も と も と も と と も と と も と と と と も と と と と も と も と と と と と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と も と る と る		の活動の 活動の 場いと	が評価されるのという。